■尾州の知と技　「ＦＤＣ匠ネットワーク」メンバー紹介⑦

ＦＤＣ匠ネットワークメンバーに聞く

――――――――――質問します――――――――――

質問１：職歴は？　**質問２**：主に携わった業務は？　**質問３**：尾州産地の現状認識は？
質問４：貴方が伝承しているもの（こと）は？　**質問５**：その伝承に必要なもの（こと）は？

プロの技術者が不足している

整理加工の匠・佐藤　功さん（所属・三井物産インターファッション）

質問１：昭和３９年　ソトー入社　平成１３年　同退社
平成１３年　I・R・J 入社　平成１５年　非常勤勤務
平成１６年　三井物産インターファッション嘱託兼務

質問２：染色整理＝技術、開発、品質管理、生産管理
補修及び物流＝営業、品質管理

質問３：繊維関連のすべての職種においてプロの技術者が不足している。これは経営者の問題なのか、人材を育てる、技術を継承させる力量が不足している。

質問４：特にない。

質問５：私の技術というよりも、産地全体が技術の必要性をいかに理解しているか、否か。必要と考えるになら、企業努力として人材育成をはかり、技術の伝承を真剣に考えなければならない。そのためには企業としてのポリシー、ビジョンが必要である。その際、行政の支援を期待すること自体、考えが甘いと思う。
匠の技イコール経験、勉強、努力、研究開発の意欲。

糸染め一筋４１年、製品･反染めも

糸染めの匠・新木一一さん（所属・一陽染工）

質問１：昭和３９年　新木染工入社（兄弟で 18 年間）
５７年　一陽染工設立

質問２：糸染め 41 年。6 年前から製品・反物染めを開始

質問３：小ロット、多品種でクィック納期が要求されている。また高品質が求められている。

質問４：糸については麻綿の細番手高密度が可能な染色方法。当社の場合はカラーインデックが特に多い。

質問５：人材育成、企業努力。